

小学校低学年の部 特選

「おふるだってすてきなおもいで 『あなふさぎのジグモンタ』をよんで」
茨木市立水尾小1年 長谷部円佳さん

「いやよ！いやよ！ねえさんたちのおふるなんて、ぜったいにいや！」

ハリネズミのすえっこがいました。けっこんしきのベールは、おねえさんがつかったの
であなだらけ。「あなふさぎや」のジグモンタがあなをふさぐようたのまれているもので
した。

わたしは、おふるがいやなきもちがすこしだけわかります。なぜなら、わたしのきいろい
つうがくぼうしはともだちのおふるだからです。ひっこしをした1つとしうえのともだち
から、ゆずってもらいました。くびにかけるゴムがきれていたの、おかあさんがぬいなお
してくれました。4がつににゆうがくしたとき、クラスのとちがピカピカのぼうしをか
ぶっていて、すこしだけうらやましいきもちになったことをおぼえています。

だけど、ジグモンタがふさいだあなをみてフクロウのおかあさんは、「いたずらっこをお
もいだしてみるたびたのしくなるわ」と、いいました。

わたしも、つうがくぼうしをみつめてみました。すこしいろあせているところ、ともだち
のなまえがかいてあったあと、ぬいなおしたゴム。みていると、ともだちとたのしくあそん
だことをおもいだしました。いまなにをしているかな、げんきかなと、あいたくなりました。
フクロウのおかあさんがいったとおり、ぼうしをみるたび、ともだちをおもいだすことが
できます。それはとてもすてきなことだとおもいました。

ものには、ひとつひとつおもいでがつまっています。あながあいても、こわれても、なお
せばながくつかうことができます。だからしんぴんもいいけれど、おふるもとてもいいもの
だときづくことができました。

これからは、いままでよりもっと、おふるのつうがくぼうしも、ほかのものも、たいせつ
につかいたいとおもいました。（「あなふさぎのジグモンタ」とみながまい／ひさかたチャイ
ルド）